



第73号
令和7年7月発行
岐阜県学校栄養士会

食に関する指導等のさらなる充実に向けて

多治見市立小泉小学校 斎藤 七絵

新年度から3カ月余りが過ぎ、子どもたちが新しい環境に慣れて生活が充実してくるよう、給食管理や学校での食に関する指導など、私たちの職務もようやく軌道に乗りかけてきた頃かと思います。

さて、文部科学省から出された、令和5年7月5日付「養護教諭及び栄養教諭の標準的な職務の明確化に係る学校管理規則の参考例等」で示された私たちの標準的な職務の内容を受け、今年度「栄養教諭及び学校栄養職員（栄養教諭等）による食に関する指導等の充実について」の通知が示されました。その通知では、①給食指導及び給食を活用した食に関する指導については、指導計画に基づいて積極的に指導を担い、業務内容の整理・分担を行った上で、週の大半において給食を活用した食に関する指導に従事する等、食の指導の充実を図ること、②各教科等における食に関する指導については、その専門性を生かしつつ、学級担任や教科担任等に対し指導の参考となる資料の提供や指導計画の作成及び評価に当たり積極的に関わること、③食に関する健康課題の相談指導については、児童生徒や保護者と直接、相談・支援するなど他の教職員と連携しながら、校内体制の中で中心的な役割を果たすこと、④校務分掌については、他の教諭等と同様に校務分掌を担うことが期待されること等が示されています。

栄養教諭制度が発足されて20年となり、これまでの取組を評価することで、いくつかの課題がみえてきました。これらの多くの課題に目を向け、私たちの職務を振り返り、さらにレベルアップしていく時期になっているのではないかと考えます。

本会の今年度の実務講習会では、食に関する指導の充実を図ることができるよう、食に関する指導の全体計画に基づいた指導や学級活動での授業づくり等について教えていただく予定です。また、実践につなぐことができるよう、オンラインだけではなく、対面での演習やグループワークなどを通して、日頃不安に思っていることの相談や、他校の取組について情報交換等を共有する機会にしていきたいと思っています。

多忙な日々の中で、「わかってはいるけれど、現在の業務をどのように精査していけばよいのだろう。」「兼務校がいくつかあり、指導の充実が図れるだろうか。」など苦慮されてみえる方が多いのではないのでしょうか。相談することが難しい一人職種ですが、会員同士のネットワークなどを有効に活用しながら、進んでいけたらと思います。

児童生徒が自分や家族の健康のことを考えた食生活を実践する力を身に付けることができるよう、私たちがまず、目指す児童生徒の姿を明確にした食に関する指導を行うことが必要です。私たちに求められていること、私たちのやるべきことは何かを明確にし、みんなで支え合いながらできることからひとつずつ積み上げていきましょう。

今こそ「お陰様」の見える化を

岐阜県教育委員会 体育健康課
学校給食係 井上 誠

いつも食育を中核となって推進していただき、ありがとうございます。岐阜県の給食は、過去19回の全国学校給食甲子園において、累積受賞回数が9回を数えるなど、全国トップクラスの実績を誇ります。そんな安全・安心でおいしい給食を、異動によって食べられなくなったこともあって、給食の有り難さを一段と強く感じています。また、昨今の給食を取り巻く厳しい状況においても、知育・徳育・体育の基礎である「食」を、全力で支えてくださっている方々の並々ならぬご努力にふれ、皆様への感謝と尊敬の念は高まるばかりです。本当にありがとうございます。

さて、着任以来、「給食の安定供給」が大きなテーマとなっています。施設・設備の維持管理もさることながら、昨今の物価高騰により「保護者の負担」とされている給食費は、令和4年度の1食あたりの平均と比較し小・中学校とも20円近く値上がりするなど、給食を提供する側・受ける側双方にとって厳しい状況にあります。そのような中、昨年度は、隣接市でパンの提供日を揃えて配送の効率化を図るなど、関係する方々が広域で連携し、数ある課題の一つを改善していただきました。私は、このような取組を子どもや保護者に伝えていくことは、給食という「素材」を教育的に価値のある「生きた教材」に創り上げるポイントであると考えます。そして、数多くの「お陰様」に見える化し、一人ひとりが気づき、考え、考え合う風土を醸成していくことは、食育推進とともに、給食の安定供給を実現する私の使命だと思っています。担当として、微力ながら精一杯努めます。どうぞよろしくお願いいたします。

令和6年度 岐阜市・岐阜地区の活動について

岐阜市と岐阜地区は合同で、夏季研修会を行いました。「小中学生のスポーツ食育～主食の大切さを知り基本を身につけ応用いつなげよう～」をテーマに、一般社団法人食アスリート協会 主任講師 公認スポーツ栄養士の馬淵恵先生にご講演いただきました。

身体づくりの土台は食生活、食べることからスポーツを考えようということで、「食べる力 食べ物を受け止める体の機能」、「胃腸力、つながっている ロ→胃腸→肛門 よくかむこと」、「コンディションを上げる、食事・代謝・排便・入浴・睡眠の5つの生活習慣」についてのお話をお聞きしました。その中でも特に、食べ物と心の関係は密接で、「食べ物で、心も育まれる」という言葉が心に残りました。

また、具体的なごはんを食べる量、わかりやすく伝える「食アススタイル ごはんと具だくさんのみそ汁が基本の組み合わせ」の食事の形は、だれもが実践しやすい、わかりやすい内容でした。

また、馬淵先生は、パリオリンピックの体操選手の食事にも関わってみえて、オリンピックでの食事についてなど、タイムリーで興味深いお話も聞かせていただくことができて楽しい研修となりました。

会員のみなさんからは、この研修を、今後の給食指導や個別指導の中で生かしていきたいとの声をたくさんいただきました。今後も、会員の資質向上につながる研修を行っていききたいと思います。

(文責 岐阜市立長良中学校 三好 美穂)

令和6年度 西濃ブロックの活動について

西濃ブロックでは、毎年、夏期研修会、衛生管理研究会、研究交流会の3つの事業を計画し、活動しています。

夏期研修会では、講師の先生をお招きし、調理実技講習を受けたり、講演を聞いたりして、勉強をする機会を作っています。令和6年度は、岐阜県学校給食会にお世話になり、Zoom 配信による Web 研修を行いました。内容は、「生活リズムと食」について、和洋女子大学 健康栄養学科 准教授 多賀昌樹先生にご講演いただきました。

衛生管理研究会では、毎年、全会員が参加できるように3～4施設に割り当て、研究会を行っています。西濃ブロックは、200食の単独校給食から9,700食のセンター給食の施設があり、いろいろな施設の研究会に参加出来るため、毎回とても勉強になります。多くの目で見ながら、違った視点で考えることで、さまざまな改善点を見つけることが出来ました。

研究交流会では、各地区の研究報告をした後、グループ交流を行いました。グループ交流では、ブレインストーミングを行い、研究内容の良かったところや工夫・改善が必要なところについて、意見をまとめました。最後に指導主事の先生からご指導をいただいたことで、より成果や課題が明確になり、次年度の研究につなげることが出来ました。

(文責 神戸町立神戸中学校 石原 美佳子)

豊かな心や健やかな体を育む食育の推進

飛騨地区では、研究テーマ「豊かな心や健やかな体を育む食育の推進～知識をもとに実践できる子の育成」のもと、食に関する主体的な学びを大切に活動を行ってきました。

6月の授業研究会では、地産地消をテーマに、給食を生きた教材として活用した授業を実施しました。児童は、飛騨産の食材が給食に多く使われている理由を考え、買い物のゲームを通して地域の食材を選ぶ体験をしました。食材のよさを知り、日常生活で実践につなげようとする意欲を育むことが出来ました。

夏季には、講師の方をお招きして調理実習を行い、トマトケチャップや飛騨の夏野菜を使った料理を作りました。飛騨産の野菜の特徴を学ぶよい機会となり、実践力を高める活動となりました。

11月には、献立作りをテーマにした授業の研究会を実施しました。家族のために一食分の献立を考えることを通して、子ども達は家庭での食事作りに主体的に関わる力を育むことが出来ました。

今後も、学校給食や地域食材を活用した授業を工夫し、学んだことが生活に生かされるような指導を充実させていきます。子ども達が食への関心を深め、自らの健康を支える力を育むことができるよう、飛騨地区部会として研鑽を重ねていきたいと考えています。

(文責 古川国府給食センター 関 絵里奈)

令和7年度役員紹介

【本部役員】



(後列、左から) 井藤・高澤・竹中・森
(前列) 臼田・伊藤・斎藤・藤井

- ①給食の思い出
- ②会員のみなさんへ 地区の仲間へ（メッセージ）

【会長】 斎藤 七絵

- ①給食の時間に牛乳早飲み大会があった。
- ②力を合わせて頑張ります。ご意見なども頂けたら嬉しいです。

【顧問】 臼田 典子

- ①小2の時の初めてのびん牛乳、中学生の時の初めてのご飯給食。
- ②会の運営や研修会の開催等のお役に立てるように頑張ります。

【県代表】 伊藤 克子

- ①みんなとグループで楽しく食べたこと
- ②岐阜県の子どもたちのために、仲間と笑顔で頑張ります。

【副会長】 藤井 千穂

- ①ミルメークを何日かに分けて飲んでいる男子がいた。（今だと×ですね）
- ②チーム岐阜で高め合しましょう！

【副会長】 高澤 和代

- ①小学生の頃、ゆっくり食べたいと言ったら、先生が給食時間を延ばしてくれたこと。
- ②がんばります！

【副会長】 森 純子

- ①冬の寒い日に、びん牛乳をストーブの上のお湯で温めて飲んだこと。
- ②一年間、よろしくお願いいたします。

【書記】 井藤 ほなみ

- ①小中学校の頃は、残ったパンは順番で持ち帰り、休むと届けてもらっていました。
- ②今年度もよろしくお願いいたします。

【会計】 竹中 恵

- ①中学3年最後の給食をクラスの仲間と泣きながら食べたこと
- ②一年間よろしくお願いいたします

【各地区常任委員】



(後列、左から) 遠藤・長江・水口
(前列) 三好・西川・石原・水向

【岐阜市】 三好 美穂

- ①苦手な食材は全くないけれど給食は苦手でした。今は給食大好き！
- ②一生懸命努めます。ご協力をお願いします。

【岐阜】 西川 美悠貴

- ①中学生の時のお花見給食
- ②今年度も精一杯努めます。どうぞよろしくお願いいたします。

【西濃】 石原 美佳子

- ①うなぎ丼とステーキ丼のセレクト給食
- ②一生懸命努めます。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

【美濃】 水向 綾香

- ①ランチルームで、縦割り班で食べたのが楽しかったです。
- ②昨年度の経験を活かして一生懸命頑張ります。

【可茂】 遠藤 麻紀子

- ①外で食べる青空給食が楽しかったです。
- ②お役に立てるよう、精一杯頑張ります。

【東濃】 長江 光花

- ①中学生になると給食の好き嫌いが減りました。
- ②今年1年間よろしくお願いいたします。

【飛騨】 水口 芽美

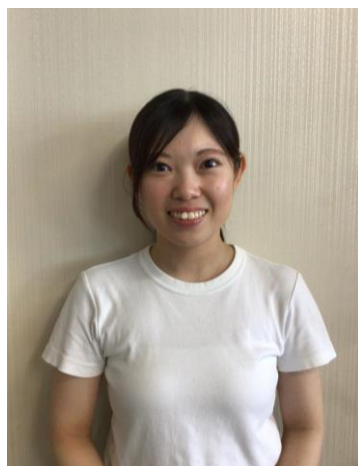
- ①カレーの日もフォークで食べていました。
- ②不慣れですが、よろしくお願いいたします！



～ 1年間、よろしくお願いいたします！ ～

栄養教諭として

岐阜市立三輪南小学校 毛利 美咲



私は、兵庫県で4年間勤務し、今年度から岐阜県の栄養教諭として働かせていただくことになりました。最初は、新しい環境で不安な気持ちが大きかったのですが、岐阜市の栄養教諭の先生方や、学校の先生方、調理員の方など多くの方々に助けをいただきながら、日々業務にあたっています。また、生まれ育った岐阜県に戻り、働くことができて、とても嬉しく思っています。

給食時間に教室を回っていると、「毎日給食おいしいです！」や、「この給食はどうやって作ったの？」と給食に関心を持って、話しかけてくれる児童もあり、うれしく感じるとともに、栄養教諭としてのやりがいを感じています。

今後は、子どもたちが将来健康に過ごすことができるよう、食の楽しさと大切さを毎日の給食や、食に関する指導を通して伝えていきたいと思います。また、栄養教諭は様々な職種の方と関わる機会が多いので、各方面で支えていただいている方々への感謝を私自身も忘れずに、取り組んでいきたいです。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

【編集後記】

飛翔73号発行に当たり、ご多用にもかかわらずご執筆いただいた先生方、ありがとうございます。今回も、各地区の活動報告を載せました。今後の地区の研修会等の参考にしてください。

今年度は、ホームページの方での給食紹介が、Facebook から Instagram へ変更します。より多くの方に簡単に観ていただけるようになりましたので、各学校や保護者の方への啓発をお願いします。また、今年度より、食育の取組は、会員専用ページに掲載することとなりました。9月より1例ずつ掲載されますので、こちらも食育の取組の参考にしてください。

(文責 井藤 ほなみ)

発行責任者 〒507-0061 多治見市姫町 6-1-10 多治見市食育センター
岐阜県学校栄養士会 会長 斎藤 七絵